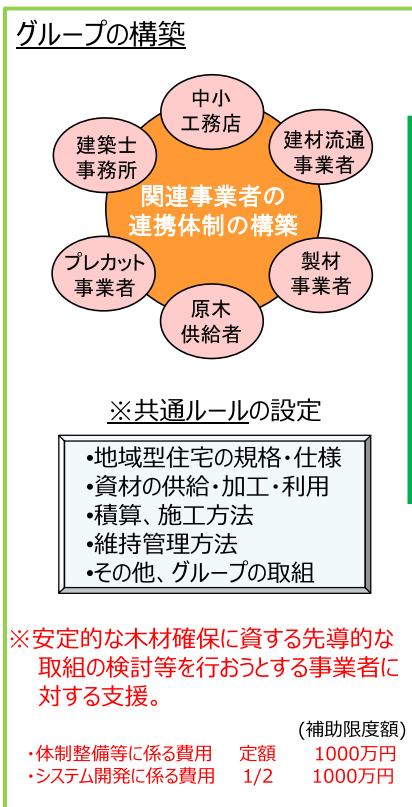


# 地域型住宅グリーン化事業

国土交通省所管  
令和3年度補正予算額：30億円  
令和3年度当初予算額：140億円

地域における木造住宅の生産体制を強化するため、資材供給、設計、施工などの連携体制により、地域材を用いて省エネ性能等に優れた木造住宅を供給するグループが行う“安定的な木材確保に資する先導的な取組の検討等”及び“ZEH等の供給”に対し支援を行う。

赤字部分：R3年度補正拡充事項



地域型住宅・建築物の整備

### 補助対象（住宅）のイメージ

タイプ	特徴	補助限度額
長寿命型	長期優良住宅	110万円/戸 ※1
高度省エネ型	認定低炭素住宅	110万円/戸 ※1
	性能向上計画認定住宅	110万円/戸 ※1
ゼロエネ住宅型	ゼロ・エネルギー住宅	140万円/戸 ※2

※1 1次エネルギー消費量が省エネ基準△20%となる場合、補助限度額を引き上げ

※ 寒冷地、低日射地域、多雪地域に限って、Nearly ZEHを補助対象

※1 4戸以上の施工経験を有する事業者の場合、補助限度額100万円/戸  
※2 4戸以上の施工経験を有する事業者の場合、補助限度額125万円/戸

### <住宅の新築における加算措置>

- ①地域材加算
  - ・主要構造材（柱・梁・桁・土台）の過半に地域材を使用する場合、補助額を加算
- ②三世帯同居/若者・子育て世帯加算
  - 以下のいずれか
  - ・玄関・キッチン・浴室又はトイレのうちいずれか2つ以上を複数箇所設置する場合、補助額を加算
  - ・40歳未満の世帯又は18歳未満の子を有する世帯の場合、補助額を加算